

方法論コミュニカティブテスト作成課題 スピーキング問題編

スピーキング問題の作成、お疲れさまでした！

これまでにリーディング、リスニング、ライティングといったコミュニカティブテストの作問を続けてきた経験が活かされ、今回もどの問題も非常に質の高いものに仕上がっていると感じました。

頭で理解することと、実際にできるようになることは異なりますが、テストを作れるようになるためには、実際にやってみて、フィードバックを受け、それを基に改善していくサイクルを回すことが重要だと改めて感じました。みなさんはまさにこのプロセスをしっかりと実践していると思います。

その中で、今回の最優秀作品は以下の問題です！

この問題が優れている点については、みなさんもすぐに気づくのではないのでしょうか。場面や状況設定が非常に自然であることに加え、採点基準も妥当性と信頼性が高く、このまま実際の学校で利用できるレベルに仕上がっています。

他にも素晴らしい問題がたくさんありますので、ぜひ時間をかけて一つ一つじっくりご覧ください。

最優秀テスト

あなたはろうかで ALT の Jamie 先生に話しかけられました。教室前にかざってある思い出の写真が何の行事のことか聞かれているので、質問に答えましょう。その後、その行事についてよりくわしい説明をもとめられるので、以下のヒントを使いながら 2 文以上で返事しましょう。

☆ヒント☆

- ・ 場所や内容を簡単に説明しよう
- ・ 何月に楽しんだ行事か教えよう
- ・ どんな気持ちだったか伝えよう



会話例（ALT との対話形式で行う）

ALT: What is this picture? (写真を 3 つすべて見せ、ひとつを指さす)

Student: It is our school trip!

ALT: Oh, I wanted to enjoy it together. I want to know about that trip (or festival).

Student: We went to Nikko-Toshogu and a Gyoza restaurant in Tochigi. We enjoyed it in September. It was so fun!

ALT: Thank you. That sounds nice!

採点基準（分析的採点）

① 課題の達成度（日本人教師による採点）

A：質問 1 に対する解答・質問 2 に対する 2 文以上の解答があり、ひとつの行事に関する説明でまとめられている。

B：質問 1 に対する解答・質問 2 に対する 1 文以上の解答があり、質問 1 で聞かれたものに関して質問 2 で説明できている。

（満たさないものは C）

② 発音・文法（ALT による採点）

A：内容の理解に影響する発音や文法の間違いが見られない

B：動詞/名詞/形容詞の間違いが 1~3 か所あるもの、コミュニケーションに支障はない

（質問 2 において内容が理解できない部分が多くコミュニケーションに支障がある場合は C）

問題 1

対象：小学 6 年生

テストタイプ：生徒と ALT によるインタビュー

場面・状況：

ALT の Alice 先生は数人の生徒に小学校の思い出について、インタビューをぜひ行いたいそうです。あなたは小学校での経験や思い出をたくさん話したいと思い、インタビューに申し込みました。

Alice 先生は後々、あなたが事前に準備できるために、インタビューで聞かれることを用意してくれました。

<インタビューで聞かれること>

1. 小学校の最高の思い出はなんだったのか。
2. どんなことをしたのか。
3. なぜその思い出が最高だと思うのか。

なお、あなたは Alice 先生の学校時代興味を持っているので、一つの質問を聞きたいと思っています。

評価について：

試験官を ALT にまかせ、教師はテスト実行と同時に採点を行う。

聞かれることについて、

1. My best memory of elementary school is (the) [行事など].
2. I [動詞の過去形] ～.
3. (It's my best memory) Because ～.

聞くことについて、

- How about you, Ms. Alice? What is your best memory of (elementary) school?

評価基準ルーブリック（25 点）

	A	B	C
全体的採点（5 点） （ALT 担当）	答えには基本的な情報はあるが、断片的に伝えている。	答えには必要な情報を伝えているが、具体性がやや不足している。	答えが明瞭かつ具体的で、ジェスチャーや声の調子も適切である。
分析的採点（教師担当） （各内容項目 5 点）	各内容項目で伝えるべき内容を話していない。	各内容項目で伝えるべき内容を話している。	各内容項目で伝えるべき内容を、正確な英語で話している。

問題 2

新学期が始まり、新しくアメリカから来た ALT の先生、Bob 先生とあなたは初顔合わせします。Bob 先生は青森県(弘前市)の学校で勤務するのは初めてであり、修学旅行はどこに行くのか、何をするのかなど興味津々であり、ぜひ休み時間に修学旅行の一番の思い出について教えてほしいそうです。以下のタスクを守り、実際に Bob 先生とお話し、修学旅行について知ってもらいましょう。

タスク

- ①あなたの名前を名乗る。
- ②修学旅行で行った最も思い出のある場所を紹介する。

③そこで食べたものや、楽しかった思い出について話す。

評価について

試験管を ALT に委託し、JET がその場で会話を聞いて採点する。

表現に関しては、Where did you go?など教科書、授業内で扱った表現のみを使用するよう事前に ALT との確認を行っておく。

・ [I went ~ / I ate ~ / I saw ~ / I enjoyed ~ ing] など授業内で学習した表現を用いてタスクを達成できていれば B

・ 英語の正確さ（文法）、流暢さ（It was beautiful.などの感想表現も加えており、流れが良い）に応じて A

・ タスクを達成できていなければ C

例. (B の場合)

My name is ○○.

I went to Mount Hokodate. I ate a hamburger. And I enjoyed riding the roller coaster.

問題 3

対象：第一小学校 6 年 1 組

6 年 1 組のみなさん、いよいよ卒業が近づいてきましたね。ALT の Rausch 先生とは一緒に外国語の勉強を頑張ってきました。Rausch 先生は来年からも第一小学校で ALT として過ごしますが、実はみなさんの学校行事についてあまり知らないようです。学校行事について知ってもらうために、

☆あなたにとっていちばんの学校行事の思い出を Rausch 先生に伝えましょう。

【Rausch 先生に必ず伝えること】

①あなたにとっていちばんの第一小学校の行事（運動会、遠足、修学旅行、学習発表会、スキー教室など）

②その行事ではどのようなことをしたのか

③その行事ではどのような気持ちだったのか

～Rausch 先生によりよく伝えるために～

・ 伝わる声の大きさとクリアボイスで、Rausch 先生の目を見て伝えよう。

- ・テストの形式：ALT(Rausch 先生)と児童

- ・採点方法：全体的採点

- ・採点基準

A: 自分にとっていちばんの学校行事とその詳細、自分の気持ちを学習した表現を用いて伝えていとともに ALT からの質問や言葉に積極的に反応している。

B: 自分にとっていちばんの学校行事とその詳細、自分の気持ちを学習した表現を用いて伝えている。

C: 【伝えること】①～③のいずれかの内容が欠けている。

問題 4

テストタイプ：生徒と ALT による対話形式

あなたのクラスでは、新しく学校にやってきた ALT の先生を含めて歓迎会を行いました。あなたは ALT の先生のことをよく知りたいと思い、話しかけに行きます。ALT の先生は学校の行事についてまだ知らないため、自分の学校生活での一番の思い出を伝え、あなた自身のことをよく知ってもらいましょう。

①児童は自分の自己紹介を行うこと。

②学校生活で一番の思い出を伝えること。

③その際の原因やエピソードも加えて伝えること。

評価

試験官に ALT の先生、採点官を担任の先生が担当する形をとる。

教科書に出てくる表現 (My best memory is~, We went ~, We saw~, I enjoyed~)

や関連語句を用いて表現できていれば B、英語の正確性や流暢さに応じて A になる。英語の正確さや流暢さがあっても②、③について伝えていない・触れていなければ C となる。

解答例

児童 : Hello. Im ○○.

ALT : Hello. I don't know anything about this school and you, so I would like to know.

児童 : My best memory is my school trip.

ALT : Oh! Please tell me more.

児童 : We went to Hakodate by ferry. I saw the beautiful sea. We went to the Goryokaku Tower.

I had a great time.

ALT : I see! I wanted to go on a school trip too! Thank you!

問題5

○テストタイプ : プレゼンテーション

○場面・状況 :

あなたは、クラスメイトと日本語を話すことができない ALT で 2 学期修了式の日 に 2024 年を振り返る会を開きました。その会では、2024 年の一番の思い出について 1 人ずつ話し、来年も良い年にしようという流れになりました。ALT がわかるように 2024 年の一番の思い出について話しましょう。

○解答例

I went to Tokyo with my family by Shinkansen on summer vacation.

I watched the baseball game at Tokyo Dome.

It was so exciting.

This is my best memory.

○評価基準 100 点満点

A: いつ、どこで、誰と、がわかり、何が一番の思い出かがわかる。なおかつその時の気持ちがわかる
(60~100 点)

B: 何が一番の思い出はわかるが、いつ、どこで、誰と、といった具体性に欠けている
(40~59 点)

C: 何が一番の思い出なのか聞いていない側がわからない (0~39 点)

問題6

(発表)

あなたは卒業を間近に控え、クラスでは卒業文集とともに小学校での思い出を話す動画を撮ろうという企画がされています。あなたの番になりました。ビデオに向かって小学校の思い出を話してください。
(実際にビデオを用意する)

採点方法：教師が採点する。

採点基準：それぞれ3段階（3・2・1）9点満点で評価する

- ①小学校での思い出を話している
- ②教科書で使用された表現を用いることができる
- ③英語が正確である流暢である、かつジェスチャーやフィラーを用いて積極的に話そうとしている

問題7

指示文

ALTのJohn先生は、これまで皆さんと授業を一緒にしてきましたが、学校行事についてはあまり知りません。そこで、学校行事の1番の思い出をJohn先生に伝えてみましょう。以下の3つについて話してください。

挨拶

1番思い出に残っている学校行事の紹介

何が思い出に残ったか、楽しかったかについて紹介

John先生が聞いていてわくわくできるように紹介してみましょう。

補足

授業で事前に学校行事の言い方を勉強し、John先生が学校行事の内容について気になっているような素振りを見せる。普段からALTと話す機会を設ける。

評価について

試験管をALTが担当し、教師が採点する。①は、1年間勉強してきた仲であるので、自己紹介などはせずHi,○○.程度にとどめること。②はMy best memory is~の文を用いること。③は過去形を用いること。適切な声量や雰囲気ですぐにタスクが出来ていることに加え、英語の正確さ流暢さに優れている、より詳しく学校行事を紹介できている人にはA評価を、3つのタスクを最低限こなせており、かつ適切な声量や雰囲気で話していた人はB評価を、タスクができていない、またはできていても声量や雰囲気が適切でない人にはC評価を与える。

問題8

あなたの学校の ALT のジョン先生は、来月アメリカの母校で「日本の小学校」をテーマとした講演会を行うようです。そこでジョン先生は、あなたの学校でさまざまなインタビュー調査を行っています。卒業を間近に控えた 6 年生には「小学校での思い出」に関するインタビューをしたいそうです。ジョン先生のインタビューに答えてみましょう。

評価：試験官は ALT が行い、教師が採点者を担う。評価は A・B・C の 3 段階で行う。

A→英語に正確さや流暢さがみられ「小学校での思い出」を答えるというタスクを達成している。

B→少し英語に誤りがみられるが、「小学校での思い出」を答えるというタスクを達成している。

C→「小学校の思い出」を答えるというタスクを達成していない。

(英語の正確さや流暢さがみられても、タスクを達成していなければ C とする。)

問題 9

○テスト形式

児童同士による対話形式（複数回実施）

○場面・状況

休み明けに友達と初めて会って、お互いの一番の思い出について話をします。その際、3 つのタスクを達成することを意識して、友達と自分の一番の思い出について話してみましょう。

1. 自分の一番の思い出がなんだったのかを明確に話す。
2. 思い出について、4 文以上で伝える。
3. 相手に対するリアクションをとる。

○例

A : Hello !

B : Hi !

A : What's your best memory?

B : My best memory is trip ! to Kyoto ! I went to Kyoto with my family. Ah... I ate danngo and matcha ! It was so~~ delicious.

A : That's nice !

B : How about you ?

A : My best memory is ... BBQ ! in beach. I went to Yurihonnjyo with my family ... and my friend.

I ate a lot of meat. It was so fun.

B : Wow, wonderful.

A : See you later.

B : See you.

○評価について

- ・ 児童同士の対話を担任の教師が採点。
- ・ 複数回実施することによってペアによる差を考慮しないものとする。
- ・ 3 つのタスクをこなせていなければ C 評価とする。こなせていて B 評価、加えて英語の正確さや流暢さがみられた場合には A 評価とする

問題 10

テストタイプ：ALT と生徒による対面形式

場面・状況：みなさんは卒業間近のため、ALT の Bob 先生とのお別れしてしまいます。Bob 先生は最後に、みなさんの思い出について一緒に話したいそうです。しかし、Bob 先生は外国語の授業は一緒にしていますが、みなさんの学校行事についてはあまり知りません。みなさんの思い出に残っている学校行事はどんなものでしたか。以下の 3 つの内容について ALT の先生と話してみましょう。

- ① 明るい表情であいさつをし、自己紹介をすること。
- ② Bob 先生に小学校生活で思い出に残った学校行事を紹介すること。
- ③ 学校行事についての自分の気持ちについて伝えること。

評価方法：試験官を ALT に委任し、教師がその場で採点する。予め ALT にはリキャストをしないようにお願いする。

- A 明るい表情ではじまりのあいさつをしている。
既習の語句や表現を正しく用いて伝えることができる。
自分のことをよく知ってもらうために思い出について内容や 順序を工夫して伝えている。
- B はじまりのあいさつをしている。
多少間違いがあっても、既習の語句や表現を正しく用いて伝えることができる。
自分のことをよく知ってもらうために思い出について伝えて いる。
- C はじまりのあいさつをしていない。
伝えようとしている内容について、間違いが多く、伝わりに くい。
自分のことをよく知ってもらうために思い出について、順序 や内容がまとまっていない。

【既習の表現例】

My best memory is～.

We went~.

We enjoyed~.

問題 11

あなたはこの小学校で働いている ALT の Smith 先生と小学校生活の 1 番の思い出を伝え合うところです。以下の①②の内容を Smith 先生と話してください。ただし、Smith 先生は学校行事等にはほとんど参加していないため、もし Smith 先生が分からなそうな反応をしたら説明してください。

自分の思い出 \oplus 何をしたのか \oplus 感想 について話す

Smith 先生が小学校の頃の思い出をたずねる

評価

- ・ ALT が試験官を務め、教師がその場で採点する。
- ・ 3 項目に基づいて採点する。内容①②の両方を満たした 50 点以上の生徒が合格。内容①②をクリアしていない生徒は点数に限らず再テストとなる。

✓50 点

内容①②を満たしてやりとりを終えた。（2 つとも満たして 50 点）

✓25 点

教科書や My picture Dictionary の表現（My best memory is~/学校行事 p32・したこと p23・感想・様子 p33 の表現）を適切な文脈で用いている。

✓25 点

Smith 先生が生徒の思い出を理解できた。

※まず、このテストの前に自分の思い出➡相手の思い出を尋ねるという生徒同士で思い出を伝え合う活動を行っている。その際教科書や My picture Dictionary を参考にする指導を行っている。Smith 先生が生徒の思い出を理解できたかという点については、理解できていない場合は（1）Smith 先生が生徒に説明を求めるというルールを定め、理解できている場合は生徒に説明を求めないとした。それでも教師が判断に迷う際は（2）テスト直後に Smith 先生に確認することとした。

問題 12

小学校外国語 My Best Memory

テスト形式：生徒と生徒の対話形式

場面・状況：あなたは、クラスメイトと休み時間に「修学旅行中の一番の思い出」について話しています。

全体的採点：ALT

部分的採点：教師

評価基準：課題の達成度（○ △ ×）

情報量（○ △ ×）

発音・文法（○ △ ×）

問題 13

○問題

あなたは街中を歩いているとアメリカ人の記者に街頭インタビューをされました。記者には日本人の通訳も連いています。その人から、アメリカのテレビ番組で「私の一番の思い出」についてインタビューしていることを話されました。また、「アメリカで放送するから英語でインタビューに答えてほしい」とたのめられました。

○評価

テストは ALT と児童の対話形式で行い、先生が第三者として採点を行う。

ALT には「一番の思い出の理由」を対話の中で聞いてもらう。

採点は全体的採点で行う。

＜理由＞ 実用性を重視したため。

ALT との対話の様子を見て、総合的に判断する。

A→英語で相手に伝えようとする姿勢が見え、英語もリアクションなどを用いてスムーズに表現できている。

B→英語で相手に伝えようとする姿勢が見え、英語もスムーズに表現できている。

C→英語で相手に伝えようとする姿勢が見えるが、英語で表現する力が低い。

D→英語で相手に伝えようとする姿勢が見えず、英語で表現することもできていない。

問題 14

小学校 6 年生 My best memory のインタビューテスト

テストタイプ：ALT が生徒にインタビューをする

町中を歩いていると、日本で思い出を作りたいと考えている外国人観光客からあなたの経験した日本での一番の思い出について質問されました。その外国人観光客はあなたの意見を参考に旅行しようと考えています。あなたが経験した日本での一番の思い出を伝えなさい。

採点者：JTE

評価方法は全体的採点とする。

- ・ A：My best memory is～や I played/enjoyed～などの基本的な表現を用いていて内容が分かり、流暢さや正確性も優れている。
- ・ B：My best memory is～や I played/enjoyed～などの基本的な表現を用いていて内容が分かる。
- ・ C：内容が分からない。

問題 16

参加者：ALT（試験官）と児童（受験者）、日本人の先生（評価者）

場面設定：生徒が学校生活についての思い出を ALT に紹介する場面。ALT もその人の思い出について質問する。双方向のやり取りを通じて実際に話す場面を意識させる。

評価基準：分析的採点（発音、文法、表現力、聞き取り理解、双方向性）

インタビューテストの流れと質問例

ALT: "Hi! My name is [ALT の名前]. Can you tell me your name?"

児童: "My name is [名前]."

ALT: "Nice to meet you, [児童の名前]! Hmm... I heard that you have many great memories in your school. Can you tell me about one?"

児童: "Yes! My best memory is [思い出]."

ALT: "Oh, that sounds fun! Can you tell me more about it? What happened?"

生徒: "I [過去形の動詞] with my friends."

ALT: "Wow, that's nice."

生徒: "How about you? Do you have a best memory?"

ALT: "Yes! My best memory is when I visited [場所]. I [したこと]. What do you think about that?"

生徒: "That's cool!"

ALT: "Thank you for sharing your memories with me! Do you have any questions for me?"

生徒: "What is your favorite school event?"

ALT: "I like [行事]. It was nice talking to you! See you!"

生徒: "See you!"

評価基準

1. 発音

4 点：発音が明瞭で ALT が容易に理解可能。

3 点：一部不明瞭だが全体として理解可能。

2 点：いくつかの単語が不明瞭で意味が伝わりにくい。

1 点：ほとんど理解できない。

2. 文法の正確さ

4 点：過去形など単元の学びを正確に使用。

3 点：一部誤りがあるが意図は伝わる。

2 点：誤りが多く、伝わりにくい。

1 点：意味がほとんど伝わらない。

3. 表現力

4 点：質問や応答が自然で内容が豊富。

3 点：適切で簡潔な応答ができる。

2 点：応答が短く、不十分。

1 点：応答がほとんどない。

4. 聞き取り理解

4 点：質問を正確に理解し応答。

3 点：質問の意図をほぼ理解。

2 点：部分的に理解。

1 点：ほとんど理解していない。

5. 双方向性

4 点：積極的に質問や発言ができ自然な対話。

3 点：ALT の話に適切に応答し一部質問も可能。

2 点：対話が ALT 主導になりがち。

1 点：双方向性がほとんど見られない。

問題 17

対象：小 6

内容：my best memory のインタビューテスト

テスト形式：ALT と生徒による対話形式（担任が評価をする）

場面状況：今年度で ALT の先生が、母国に帰ってしまうことになりました。今日は最後の授業日です。そこで、ALT の先生と今年一年の出来事、思い出について話してみましょう。会話の中で、ALT の先生に「What is your best memory?」など質問をしてみること！（あらかじめ、児童には行事が英語で書かれたカードを渡しておき、参照してもらう）

※あらかじめ ALT と評価基準を共有しておき、テスト中に黙ってしまった児童に対しては、「What is your best memory?」や「Where did you go?」など会話を促す質問をする。児童が we went ～、we saw～など定型分しか言わない可能性も考えられるため、ALT は「How was it?」など、児童が思い出の感想まで言ってもらうような質問をする。

評価基準

My best memory is ～. We went ～. We saw ～. I enjoyed ～. およびその関連語句などについて、授業で習った内容を概ね理解し使用できていれば B、さらに発音や文法も正しく、思い出の感想も適切に言えれば A とする。

発音や文法が正しくとも、授業で習った内容を理解しておらず使用できていなければ C とする。

問題 18

あなたは、給食の時間に誕生日を祝ってもらいました。その時、一緒に給食を食べていた ALT の〇〇先生が、一年を振り返って、思い出を聞かせてほしいそうです。3つの行事の中から、自分が一番思い出に残った行事を選び、〇〇先生に伝えましょう。

- ① 運動会
- ② 学習発表会
- ③ 文化祭

テスト形式

試験官を ALT、採点者を教師とする。

生徒の答えに応じて、ALT には、簡単な質問をしてもらう。

例) When? Where? How did you feel? など

評価

以下のタスクを達成できたかどうかで、採点する。

- ・ 何の行事が思い出に残ったかを伝えることができる
- ・ そのことで、自分はどう思ったのかを伝えることができる
- ・ ALT の質問に答えることができる
- ・ 表現を適切に使うことができる

全て達成できたら A、3 つ達成出来たら B、2 つ以下なら C とする。

問題 19

あなたは小学校児童で、授業の一環で海外の学校とビデオ通話を行い、学校の紹介をします。学校での一番の思い出を説明や相手からの質問に自身の経験を関連付けて答えましょう。

話すこと

- ・ 会話の始まりと終わりのあいさつ
- ・ my best memory (学校行事内での)
- ・ 選んだ理由
- ・ 学校行事の補足 (どんなこと、だれと、いつするのか等)

学校行事例

- ・ School trip (遠足、修学旅行) ・ sports day (運動会) ・ school play (学芸会)
- ・ arts appreciation (芸術鑑賞会) ・ achievement test (学力テスト)

評価基準【話すこと】

思考・判断・表現

A 思い出の学校行事を詳しく伝える為に、行事で行ったことや行った場所について等、相手の反応を見ながら自分のことを伝えたり、質問したり、繰り返したりしている。

B 思い出の学校行事を詳しく伝える為に、行事で行ったことや行った場所について等、自分のことを伝えたり、質問したり、繰り返したりしている。

C B をみたしていない。

知識技能

- A 話す英文に文法的にほとんど誤りがない。
- B 誤りが少し見られるが、やり取りに支障が見られない程度である。
- C B をみたしていない。

主体的に学習に取り組む態度

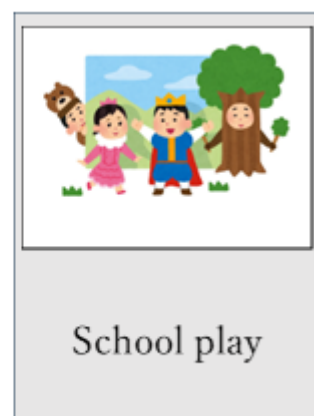
- A ジェスチャーやアイコンタクトなどを使って、やり取りをしようとしている。
- B 付属的な工夫はみられないものの、やり取りをしようとしている。
- C B をみたしていない。

ALT は海外の子ども役を担当し、教師はやり取りを見ながら評価基準に照らし合わせ採点を行う。

ALT には子どもが話した内容（行事）について、追加で説明や補足をする為の質問をするようお願いしておく。

問題 20

6年生の皆さん、いよいよ卒業が近づいてきましたね。そこであなたは、ALT の Spencer 先生に自分のことをよく知ってもらうために小学校での思い出を伝えることになりました。Spencer 先生とは普段から外国語と一緒に勉強していますが、あなたの学校の行事についてはあまり分かっていません。あなたにとって心に残っている学校行事はどんな様子だったか Spencer 先生に伝えてあげましょう。（下に3枚の行事の書かれたトランプがあるので、あなたの心に残っている行事を1枚選び、その行事について Spencer 先生と1分間会話すること）



○評価

試験官を ALT に委託することで、教師がその場で採点する。予め ALT には、unit7 my best memory で学習した既習事項(What is your best memory ?) を用いたり、wanna や gonna といった児童が分からないネイティブ英語は用いたりしないことを共有する。評価基準は以下のルーブリックを用いる。

	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性
A	学習した語句や表現などを正しく使って伝えることができる。	自分のことをよりよく知ってもらうために、小学校の思い出について、話す内容や順番を工夫するなどしてやり取りを行っている。	自分のことをよりよく知ってもらうために、小学校の思い出について、話す内容や順番を工夫するなどしてやり取りを行おうとしている。
B	2～3点間違いがあっても、学習した語句や表現を使って伝えることができる。	自分のことを知ってもらうために小学校での思い出についてやり取りを行っている。	自分のことを知ってもらうために小学校での思い出についてやり取りを行おうとしている。
C	友達や先生の助けがあると言えることができる。	B を満たしていない。	B を満たしていない。

問題 21

あなたはろうかで ALT の Jamie 先生に話しかけられました。教室前にかざってある思い出の写真が何の行事のことか聞かれているので、質問に答えましょう。その後、その行事についてよりくわしい説明をもとめられるので、以下のヒントを使いながら 2 文以上で返事しましょう。

☆ヒント☆

- ・ 場所や内容を簡単に説明しよう
- ・ 何月に楽しんだ行事か教えよう
- ・ どんな気持ちだったか伝えよう



会話例 (ALT との対話形式で行う)

ALT: What is this picture? (写真を 3 つすべて見せ、ひとつを指さす)

Student: It is our school trip!

ALT: Oh, I wanted to enjoy it together. I want to know about that trip (or festival).

Student: We went to Nikko-Toshogu and a Gyoza restaurant in Tochigi. We enjoyed it in September. It was so fun!

ALT: Thank you. That sounds nice!

採点基準 (分析的採点)

③ 課題の達成度 (日本人教師による採点)

A: 質問 1 に対する解答・質問 2 に対する 2 文以上の解答があり、ひとつの行事に関する説明でまとめられている。

B: 質問 1 に対する解答・質問 2 に対する 1 文以上の解答があり、質問 1 で聞かれたものに関して質問 2 で説明できている。

(満たさないものは C)

④ 発音・文法 (ALT による採点)

A: 内容の理解に影響する発音や文法の間違いが見られない

B: 動詞/名詞/形容詞の間違いが 1~3 か所あるもの、コミュニケーションに支障はない

(質問 2 において内容が理解できない部分が多くコミュニケーションに支障がある場合は C)

問題 22

状況設定

あなたは海外のテレビ局に勤めているアナウンサーです。そのテレビ局では一般人にインタビューをして今まで生きてきた中で一番の思い出を覚えてもらう番組が人気です。そろそろ番組の収録が始まりそうです。それでは、さっそくアナウンサーとして一般人にインタビューしてみましょう。

テストを行うにあたり

生徒同士でインタビュー活動を行わせ、教師は採点者側につく。インタビュー活動を行わせる生徒はランダムに当ててそのペアで行わせる。またインタビューされる側の生徒は教師の手作りカードを引いて、その役になりきる。(カードの例⇒耳が悪いおじいちゃん、急いでいる会社員、元気な幼稚園児)

基準

英語でインタビューを行うことができたか（課題の達成度）

一般人から一番の思い出について詳しく聞き出せたか、（情報量）

話している英語の発音・文法は適切か（発音・文法）

解答例①

アナウンサー Hello! Do you have time? I want to interview you.

一般人 Sure. What is the theme?

アナウンサー I want to ask you about your best memory.

一般人 OK. My best memory is My mother's cooking.

アナウンサー Why it is your best memory?

一般人 Because, My mother's cooking is delicious.

アナウンサー What food do you eat?

一般人 My mother cook Tamagoyaki. It is nice!

アナウンサー Do you eat any other food?

一般人 I eat an omelet too!

アナウンサー It's good! Thank you for my interview.

一般人 Your welcome.

解答例②

アナウンサー Hello! Do you have time? I want to interview you.

一般人 I'm busy now, but I have a little time.

アナウンサー Thanks! I want to ask you about your best memory.

一般人 My best memory is a soccer club.

アナウンサー Why your best memory is it?

一般人 Because, I won Jibin elementary school in the soccer game.

アナウンサー It is nice! Could you join the game?

一般人 Yes, I did.

アナウンサー What is your position in the game.

一般人 Forward ! Oh! It's time to go!

アナウンサー OK. Thank you for my interview!

一般人 Your welcome.